

# 文系学生の情報系科目の学習に対する 動機や不安に関する探索的調査

An Exploratory Study of Motivations and Anxieties in the IT-related Subjects for Humanities' Students.



佐藤 朝美  
Tomomi SATO

浦尾 彰  
Akira URAO

愛知淑徳大学

Aichi Syukutoku University



■あらし■ 現在、文理の境界を超えてのIT人材育成が求められている。そこで本研究では、文系学生が情報系科目（情報学の科目やPC操作・プログラミングを含んだ学習領域を指すと定義）を学習する動機と不安や困難を探索的に調査する。質問紙による調査を行った結果、情報系科目を得意でないと回答した文系学生は、情報系の用語自体を難しいと感じており、タイピングを含めたコンピュータ操作に困難を抱えていることが分かった。さらに、数学が苦手、論理的に考えることが苦手等の学生自身の意識から、不安に繋がっている様子もうかがえた。

## ■ 研究の目的

## ■ 調査方法

文理の境界を超えてのAI/IT人材育成が求められる状況において、文系出身者はどのような学習困難や不安を感じるのだろうか。本調査は、文系出身の学生が情報系科目を学習していく際の動機と抱える不安や困難感について、探索的に調査を行うことを目的とする。

本学人間情報学部のある学生の多くは文系出身であるが、SEを目指してIT企業へ就職する者が年々増加している。そこで、本学生を調査することで、文系出身者の情報系科目への学習動機や抱える不安、困難な状況について明らかにする。これらの知見は文系IT人材育成に適用できると考える。

本学部の情報系科目を受講している2年生以上の学生を対象に調査を行う。実施時期は2020年5月～6月中旬、Microsoft Teamsのアンケート機能（Forms）を用いた。

### (1) 学生の属性

高校時代の所属学科・コース、IT系資格の取得状況、大学卒業後の進路の希望職種、情報系科目に対する意識等の質問項目とした。

### (2) 情報系科目の学習に対する動機

岡田・中谷（2006）らの学習内容に関する「内発」、周囲との関連を考慮する「取り入れ」、周囲からの影響に関する「外的」、自分事として捉える「同一化」の4点について2つの質問項目とした。

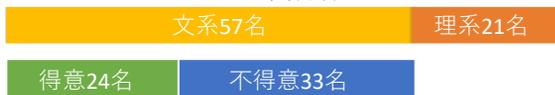
### (3) 情報系科目の学習に対する不安や困難感

IT用語が難しい、数学が苦手、タイピングが遅い、コンピュータ操作が苦手等、情報系科目の不安は通常の学習不安尺度項目と異なるため、想定される不安項目を複数選択とすることとした。その他学生が感じる不安を述べてもらうよう、自由記述欄を設けた。

## ■ 調査の結果

### (1) 学生の属性

アンケート回答者 N=78



情報系科目に対する意識（文系57名中）

#### 得意とする理由

- ・情報系科目は必要だと考え勉強しているから（15名）
- ・コンピュータ操作が好きだから（13名）
- ・プログラミングが面白いから（3名）

\* 理系出身者の21名中7名が面白いと回答

#### 得意でないとする理由

- ・情報系の用語が難しいから（19名）
- ・コンピュータ操作が難しいから（13名）
- ・タイピングが遅いから（8名）

### (2) 情報系科目の学習に対する動機

「(とても良く)当てはまる」が多い項目

- ・内発「自分の能力を高めることになるから」
- ・取り入れ「後で困るのが嫌だから」
- ・同一化「将来いろいろなことに役立つから」

\* 「親がうるさいから」の周囲からの影響に関する「外的」については全く当てはまらないという回答が多かった。

情報系科目の学習に対する動機 N=57

■ 全く当てはまらない ■ 当てはまらない ■ どちらともいえない ■ 当てはまる ■ とても良く当てはまる



### (3) 情報系科目の学習に対する不安や困難感

「不安でない」が24名、「不安」が33名であった。

#### 不安でない理由

- ・情報系科目に興味があるから（7名）
- ・技術の進歩に関係なく今学んでいることが役立つと思うから（4名）

#### 不安な理由

- ・情報系科目が難しいから（17名）
- ・情報系科目の授業についていけないと思うから（10名）
- ・論理的に考えることが苦手だから（10名）
- ・数学が苦手だから（8名）
- ・学んでいることと職業とのつながりが見えないから（7名）
- ・「その他」なし

#### 自由記述

情報系科目のカリキュラムや授業改善に関する記述（13名）、プログラミングの演習時間を増やすことや授業時間外で使える施設を増やすことを希望する実技に関する記述（8名）があった。

## ■ 考察

文系出身で情報系科目を得意と答えた学生は、情報系科目の必要性を感じて勉強していることと操作が好きだから得意となっている様子がうかがえた。得意でないと答えた学生は、情報系の用語自体を難しいと感じており、タイピングを含めたコンピュータ操作に困難を抱えていることが分かった。

## ■ 謝辞

本研究は、愛知淑徳大学研究助成金（共同研究）の助成を受けたものである。